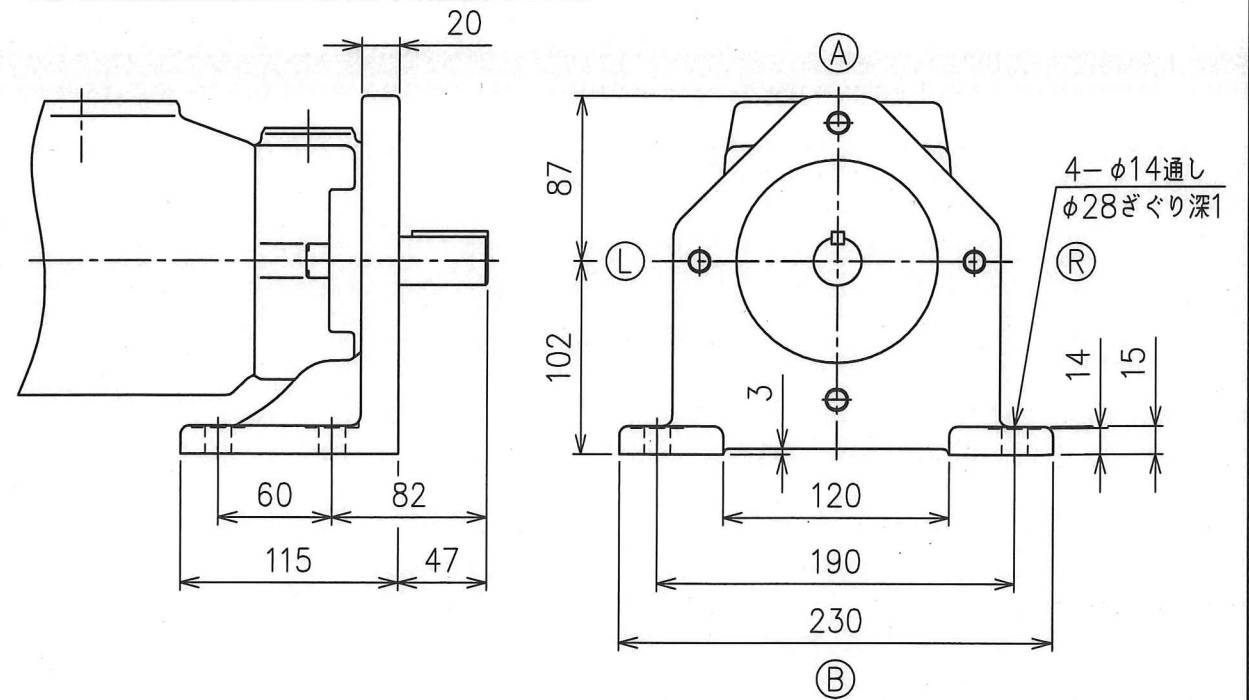
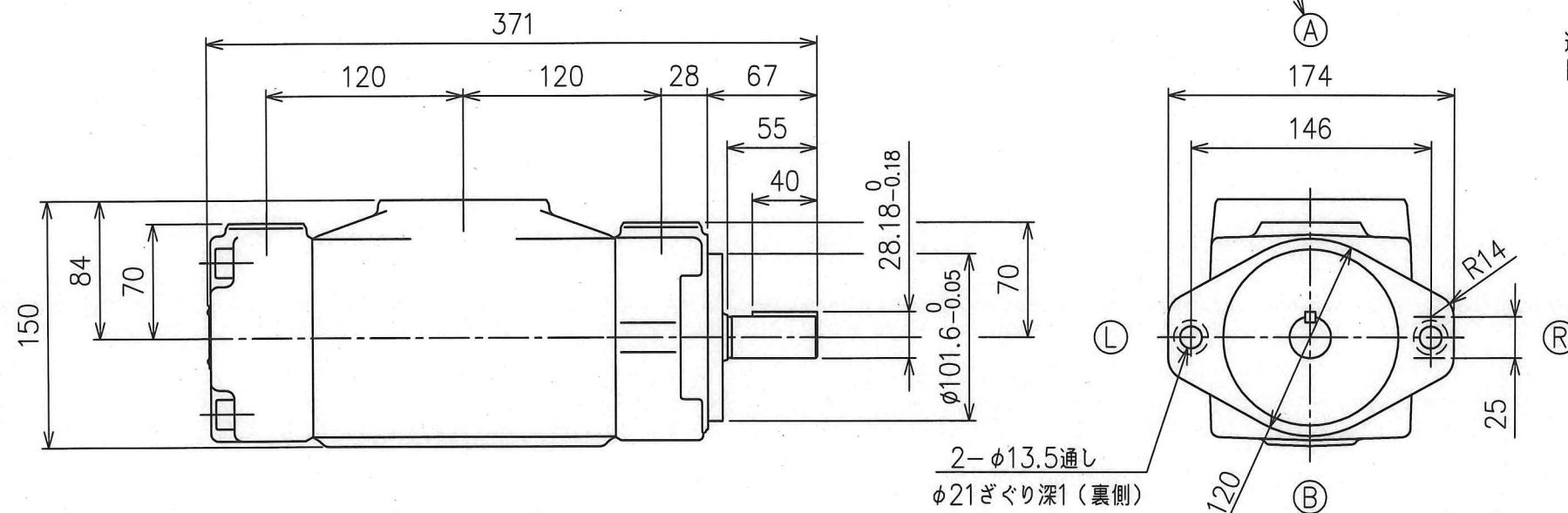


フート取付形 質量36.3kg
※-PV2R22-※-※-※-※※※※-40



管フランジ取付面はSAE J 518 4ボルトスプリット
フランジに準拠します。



吸込みポートおよび PR1
PR2側吐出しポートの向き

モデル番号の構成

※-PV2R22-26-47-F-R A A A-40

適用流体記号
F:りん酸エステル
系のみ記入

シリーズ番号
PR1側押しのみ容積の呼び
26,33,41,47,53,59,65

PR2側押しのみ容積の呼び
26,33,41,47,53,59,65

取付形式

F:フランジ取付形
L:フート取付形

回転方向(軸端より見て)

R:時計方向(標準)

L:反時計方向

設計番号

吸込みポートの向き
(軸端より見て)
A(標準),B,R,L

PR2側吐出しポートの向き
(軸端より見て)
A(標準),B,R,L
(注)フランジ取付形はAのみ。

PR1側吐出しポートの向き
(軸端より見て)
A(標準),B,R,L

フランジ取付形 質量32kg
※-PV2R22-※-※-※-※※A※-40
PR2側吐出しポートの向きは(A)のみ

SYM	REVISIONS	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	DATE	APPROVED	CHECKED	MODEL NO.	40 D
		69-9-4	河原	※-PV2R22-※-※-※-※※※※-40	
		北村	安田	NAME	※-PV2R22形二連ベーンポンプ
		三角法	THIRD ANGLE PROJECTION		
		FILE NO.		DWG NO.	PA315201-4-0 (1/2)
		188			

定格

最高使用圧力 ----- 表1参照
 回転速度 ----- 表2参照
 吸込み圧力 ----- 表2参照

使用油について

作動油の種類 ----- 表1参照
 作動油の推奨粘度グレード ----- ISO VG32~46
 使用粘度範囲 ----- 20~400mm²/s
 使用温度範囲 (ただし上記粘度範囲にご注意ください) ----- 表2参照

使用上の注意

1, 作動油の管理

作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は JIS B 9933 (ISO 4406) 23/21/18または、NAS 12級以内にしてください。
 なお、吸込みラインには 100μm (150 メッシュ) のタンク用フィルタを、タンクの底から50mm以上離して必ず設けてください。

2, 軸接続上の注意

軸接続の際はできるだけフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。
 なお、駆動軸とのズレはTIR.0.1 mm、角度誤差が0.2°をこえないでください。

3, 起動上の注意

起動時または長時間休止後に運転を行う場合吸込みにくいことがあります。その時は吐出し側にて空気抜きを行うか、または空気抜き弁 (モデル番号: ST1004) を設けてください。

4, ポンプ取付上の注意

タンク内の油面がポンプより下側にある場合には吸込みポートを上向きにして使用することを推奨いたします。

5, 管フランジキット

ポンプには管フランジキットが付属されておりませんので、ご使用の際には下表を参照のうえご注文ください。

対応するポート (呼び口径)	管フランジキット番号 (注)	
	ねじ込み形	溶接形
吸込みポート (2 1/2)	※-F5-20-A-10	※-F5-20-B-10
PR1, PR2 吐出しポート (3/4)	※-F5-06-A-10	※-F5-06-B-10

(注) 管フランジキット番号

※-F5-※-※-10

└ 適用流体記号

F: りん酸エステル系作動油用のみ記入

△ 6, 水グリコール系作動油使用上の注意

水グリコール系作動油をご使用の場合、シャフトオイルシール部より軽微な油漏れが発生します。(油漏れの目安: 500mL/6ヶ月)
 ポンプベースに適切な容量のトレイを設置してください。

● 軸入力

PR1側ポンプとPR2側ポンプの軸入力の合計が回転速度に対して右図のように制限されます。

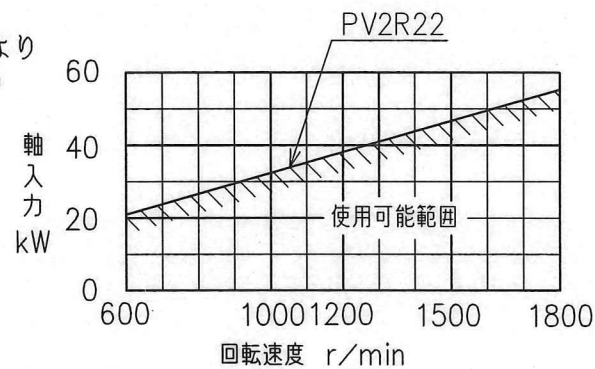


表1

モデル番号	理論 押し のけ 容積 cm ³ /rev	最高使用圧力 MPa					
		石油系		水グリコール系		W/Oエマ ルシ オン 系 作 動 油	りん酸エ ステ ル 系 作 動 油
		耐摩耗性 作動油	R&O 作動油	耐摩耗性 作動油	非耐摩耗性 作動油		
※-PV2R22-26-※	26.6	21	14	16	7	7	14
※-PV2R22-33-※	33.3						
※-PV2R22-41-※	41.3						
※-PV2R22-47-※	47.2						
※-PV2R22-53-※	52.5						
※-PV2R22-59-※	58.2						
※-PV2R22-65-※	64.7	21	14	16	7	7	14
※-PV2R22-※-26	26.6						
※-PV2R22-※-33	33.3						
※-PV2R22-※-41	41.3						
※-PV2R22-※-47	47.2						
※-PV2R22-※-53	52.5						
※-PV2R22-※-59	58.2						
※-PV2R22-※-65	64.7						

表2

作動油の種類	回転速度		吸込み圧力		使用温度範囲		
	最高 r/min	最低 r/min	最高 kPa	最低 kPa	最高 °C	最低 °C	
石油系作動油	1800	600	+30	-20	70	0	
水グリコール系作動油	1200				-16	50	0
W/Oエマルション系作動油						50	5
りん酸エステル系作動油						70	0

圧力-吐出し量特性、軸入力特性は下記外観図をご参照ください。

PV2R2-※-※-※※※-41 (191-PA314233-8)

江 1/6 001 P16-001 X1 SYM	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. ※-PV2R22-※-※-※-※※※※-40 NAME	
	APPROVED	CHECKED		
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		DWG NO.	PA315201-4-1 (2/2)
	FILE NO.	188		